



# 公共交通と自家用車のつかいかた

～魅力あふれるまちづくりに向けて～

## マチににぎわいを与える公共交通

- 自家用車の流入を抑制し、公共交通を中心としたマチは、人々が行き交い、にぎわいが生まれます。
- にぎわいのあるマチでは、公共交通を使いやすくする工夫が凝らされています。



スイス ジュネーブ



ドイツ ベルリン(自転車も活かした公共交通の利用環境)



エストニア タリン  
(利用汎用性の高いパーソナルモビリティ)



Booking	
Via: Berlin AB Price level: Berlin Tarifgebiet A-B	
Single Ticket regular tariff	3,20 €
4 Single Trip Ticket regular tariff	10,00 €
Price per unit 2,50 €	validate
Single Ticket reduced tariff	2,00 €
4 Single Trip Ticket reduced tariff	6,20 €
Price per unit 1,55 €	validate
24-hour-ticket regular tariff	9,50 €
24-hour-ticket reduced tariff	6,00 €
24 hour Small Group Day Ticket	29,00 €

ドイツ ベルリン  
(多彩な料金プラン)



フィンランド ヘルシンキ(道路空間を様々な用途に活用・共存)

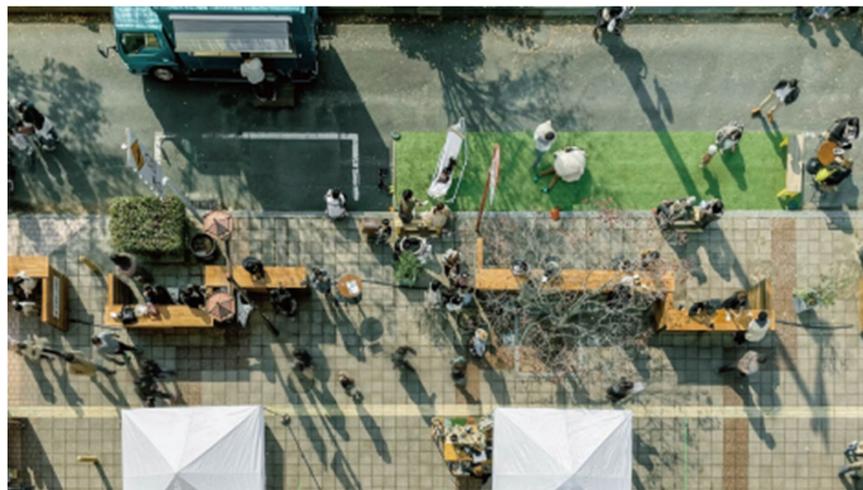
## マチのにぎわいづくりへの期待

- 中国地方でも、公共交通を活かしたマチのにぎわいづくりが進められています。



### 実施日(全5回)と主なイベント等

令和5年	実施日	主なイベント等
	8/6(日)	スマホ決済最大20%還元キャンペーン【第5弾】/ 鳥城夏まつり/夏の鳥城灯籠郷・幻想庭園/ 岡山ステーションキャンペーンアフターキャンペーン/ 西川夏あかり/オリエント美術館入館料無料DAY
	9/3(日)	岡山芸術創造劇場ハレノワ開館事業「100人ダンス」/ 岡山ステーションキャンペーンアフターキャンペーン/ オリエント美術館入館料無料DAY
	10/8(日)	秋のおかやま桃太郎まつり
	11/3(金)	岡山城リニューアルオープン1周年記念イベント/ 備前岡山ええじゃないか大藝文払い トライフープ岡山vs徳島(ジップアリーナ岡山)
	11/5(日)	ウェルネスフェスタinハレノワ/ ファジアーノ岡山vs秋田(シティライトスタジアム)/ 岡山城リニューアルオープン1周年記念イベント/ 備前岡山ええじゃないか大藝文払い

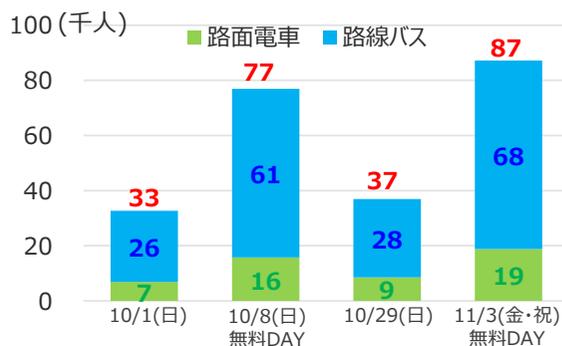


- ▲宇部市 常盤通り
- ・歩道や副道を活用して滞在空間を創出
- ・歩行者天国にする祭り時には公共交通の運賃を無料に



資料：国土交通省ウォークアブルポータルサイト

### 路線バス・路面電車の利用者数



資料：岡山市資料より作成

### 運賃無料による経済効果

無料DAYだから外出した人  
10/8：5,291人  
11/3：6,418人

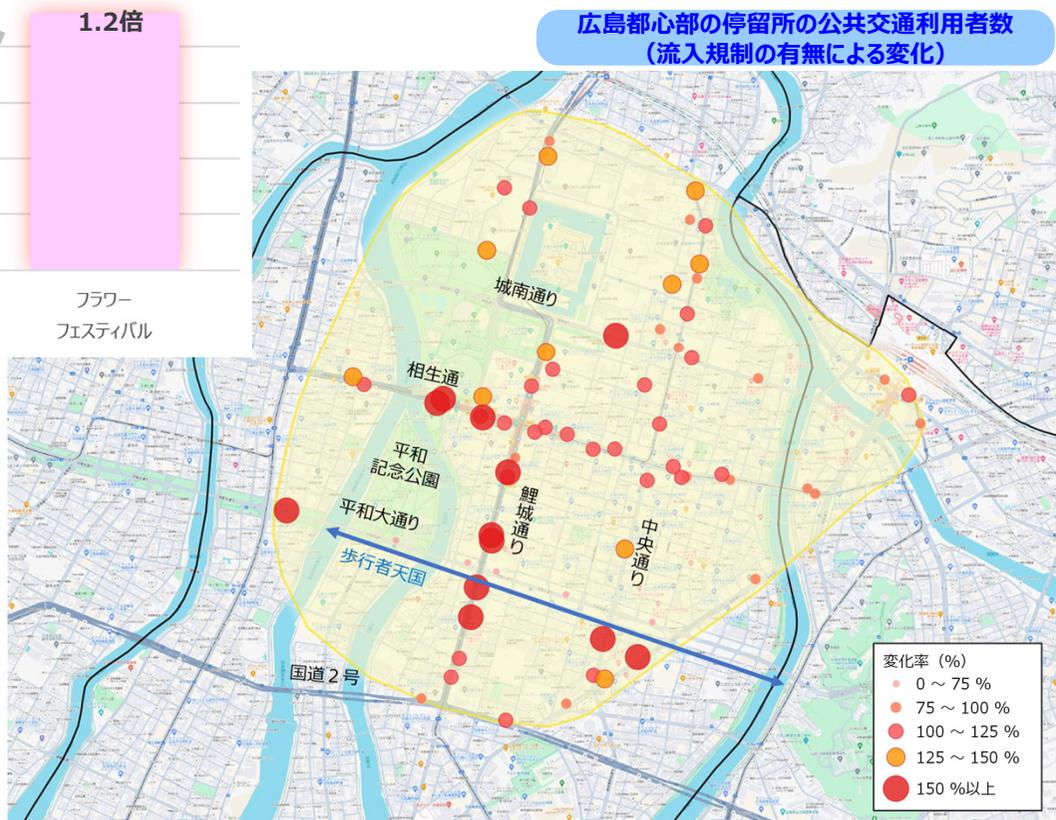
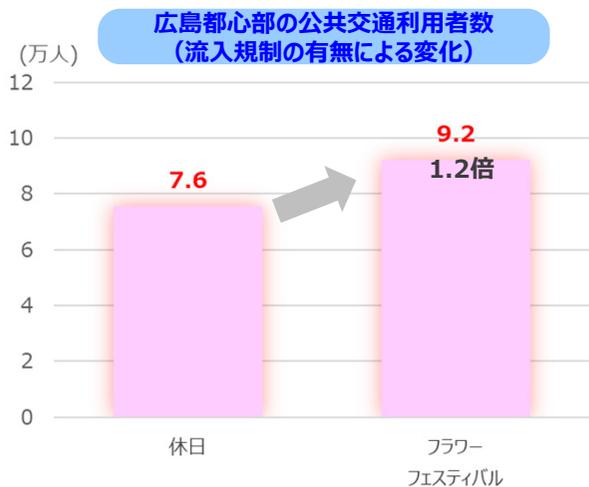
無料DAYによる消費増加  
10/8：4,114万円  
11/3：5,789万円

- ▶広島市 相生通り
- ・都心の魅力と回遊性の向上で“+1トリップ” (まちづくり)と一体となった居心地が良く歩きたくなる歩行環境の整備、回遊を生み出す都心交通体系の構築)

資料：広島市総合交通戦略 (R4.3)

## マチがにぎわえば公共交通利用は増える

- 自家用車の流入規制を伴うイベント時は、公共交通の利用が増加しています。
- 認知度が高いイベント時と同様に、自家用車に頼らないマチナカが日常化すると、公共交通の利用が促進されます。



▲ひろしまフラワーフェスティバル  
・広島市の中心市街地にある平和大通りを歩行者天国化

資料：広島市

資料：PASPYデータより作成

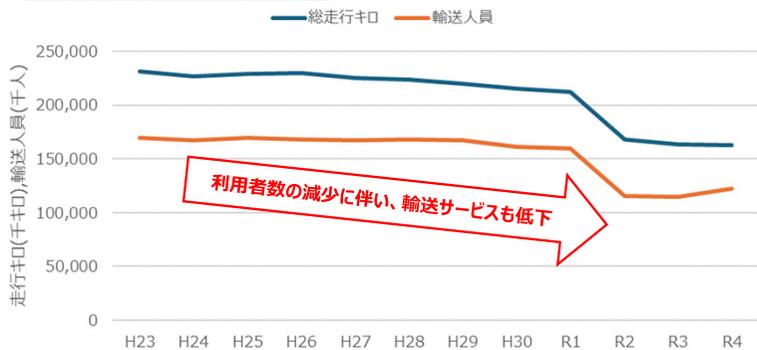
※休日：R5.6.17(土)、R5.6.18(日)、R5.6.24(土)、R5.6.25(日)の平均

※フラワーフェスティバル：R5.6.10(土)、R5.6.11(日)の平均

## 公共交通が多様化するニーズに応えるためには

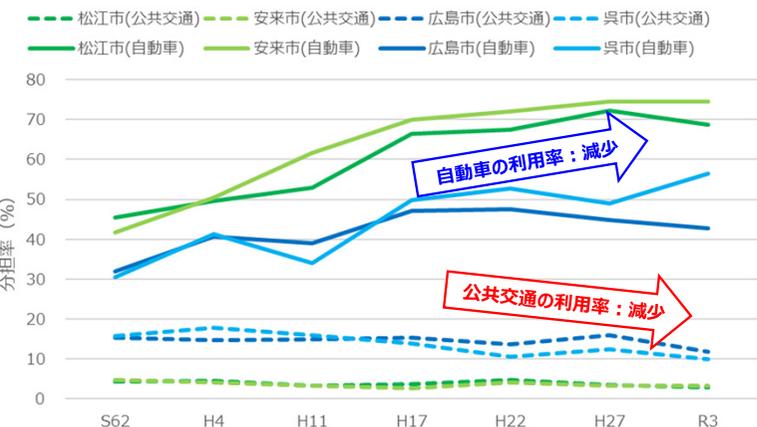
- 自動車の利用が増えたことで、公共交通は元気をなくしています…。
- 移動ニーズが多様化する中、自家用車の利便性と、今ある公共交通を活かしていくことが重要です。

### 中国地方における乗合バスの 総走行キロと輸送人員



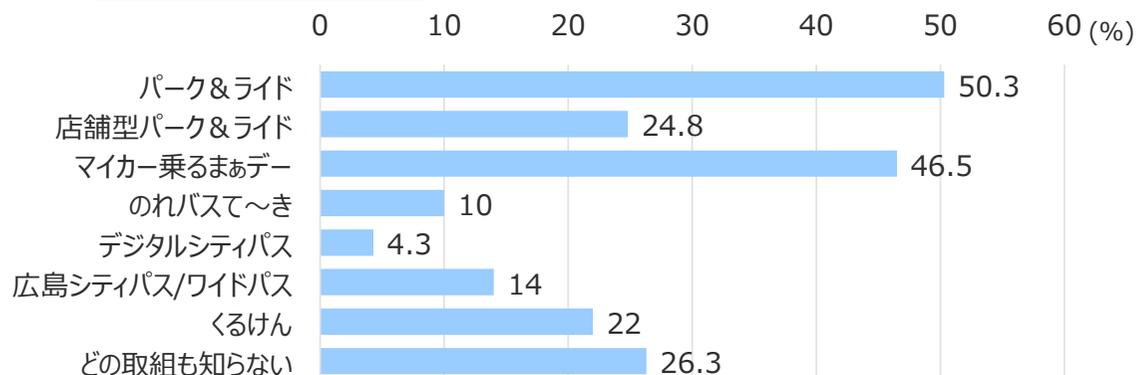
資料：中国運輸局 運輸要覧より作成

### 自動車と公共交通の利用率



資料：全国都市交通特性調査より作成

### 公共交通利用促進策の認知度



資料：広島市民を対象としたアンケート調査結果より作成



資料：広島都市圏パーク&ライド推進協議会



**のれバスて〜き**  
(環定期券制度)

乗車・バス・定期で、バスに乗ればステキが待っています！

資料：広島県バス協会

定額で広島市内が乗り放題。

**公共交通の  
共通パス  
発売中!**

選べ3!  
共通バス

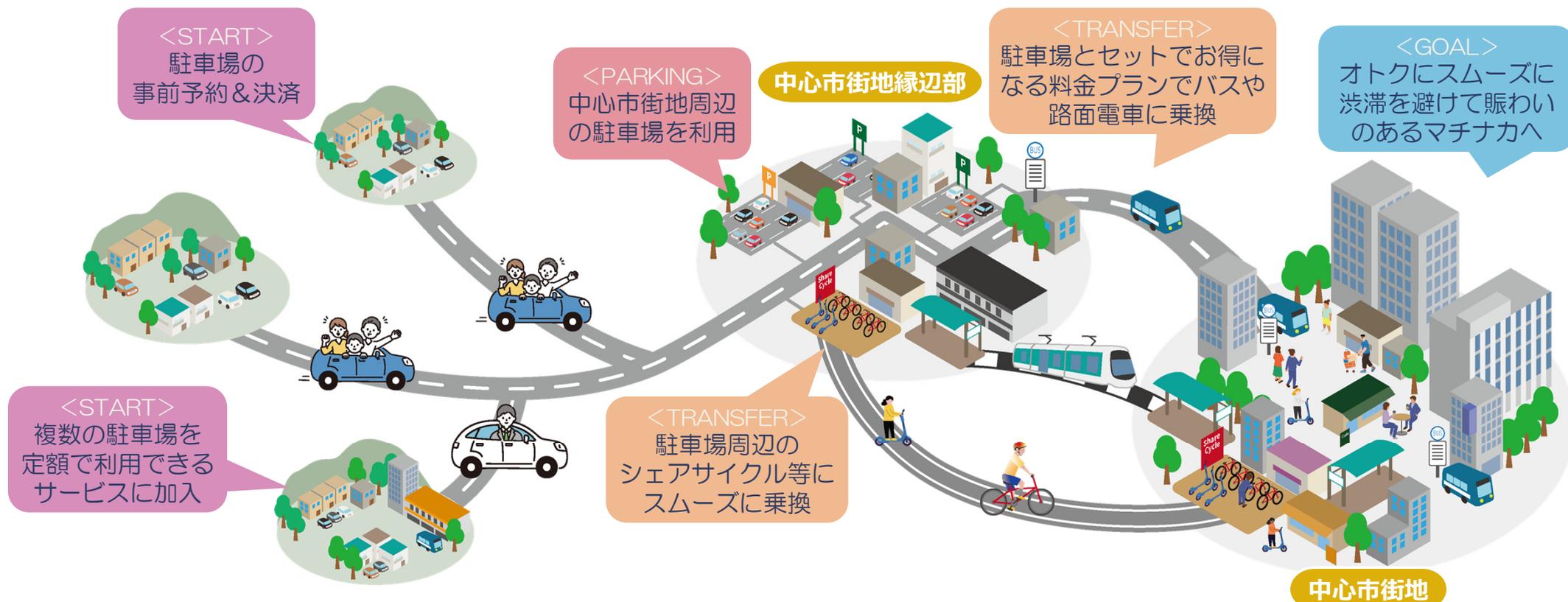
シーンに合わせて3種類  
使い方いろいろ

エリア内を運行するバス7社と広電電車で利用可能!

- 1 広島シティバス  
詳しくみる▼
- 2 広島シティバス ワイドパス  
詳しくみる▼
- 3 デジタルシティバス  
詳しくみる▼

資料：広島県バス協会

## CASE 1 中心市街地縁辺部に駐車して公共交通やシェアサイクル等でマチナカへ



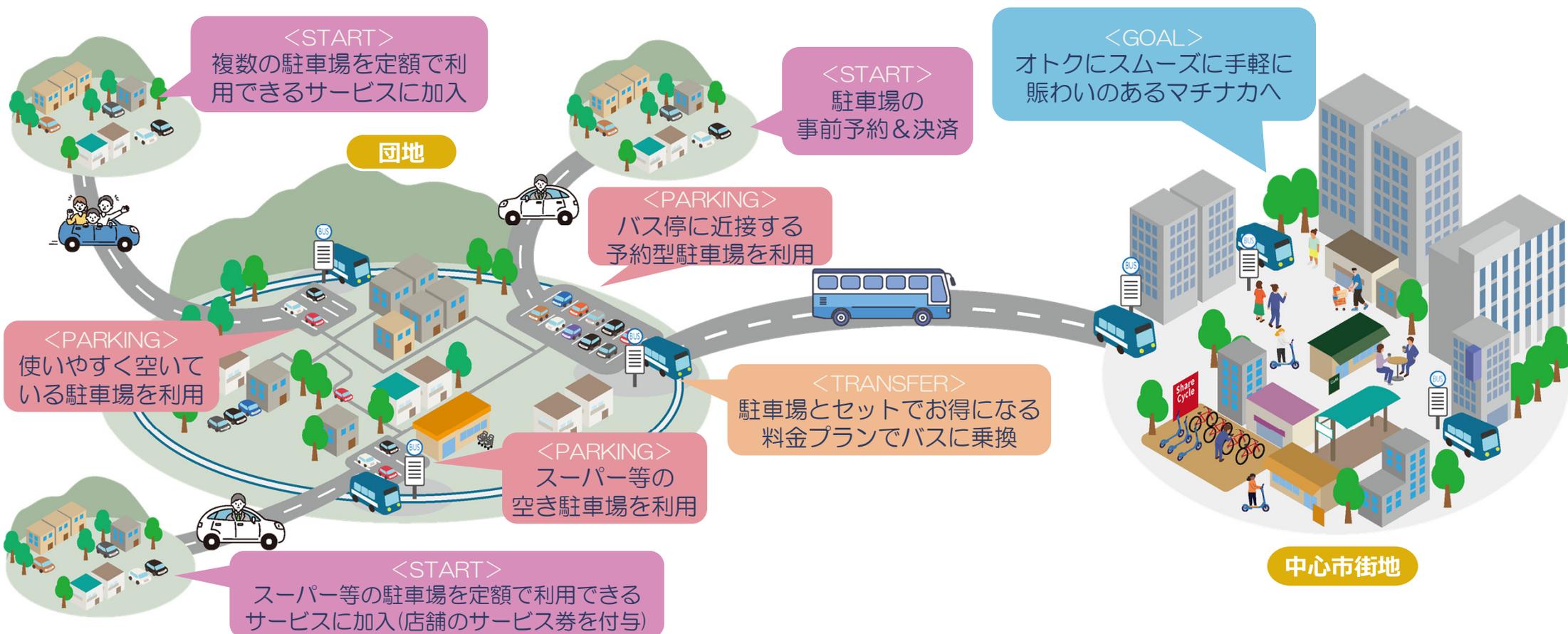
- 中心市街地縁辺の利便性の高い交通結節点を最大限に活用し、公共交通と合わせてマネジメントすることが効果的です。
- 例えば、駐車場を事前予約・決済することで、公共交通や駐車場の利用がお得になるサービスなどが考えられます。

## CASE2 郊外の主要なターミナル周辺に駐車して鉄道等でマチナカへ



- 郊外の主要なターミナルに隣接する駐車場を最大限に活用し、公共交通と合わせてマネジメントすることが効果的です。
- 例えば、ショッピングセンターの駐車場を定額利用した場合、お買物券を付与するサービスなどが考えられます。

## CASE3 団地内に駐車して路線バス等でマチナカへ



- 団地内に点在する駐車場を最大限に活用し、公共交通と合わせてマネジメントすることが効果的です。
- 例えば、バス停に隣接する複数の駐車場や商業施設の駐車場の空きスペースをいつでもどこでも定額で利用できるサービスなどが考えられます。

## 公共交通や自家用車と上手に付き合う暮らし

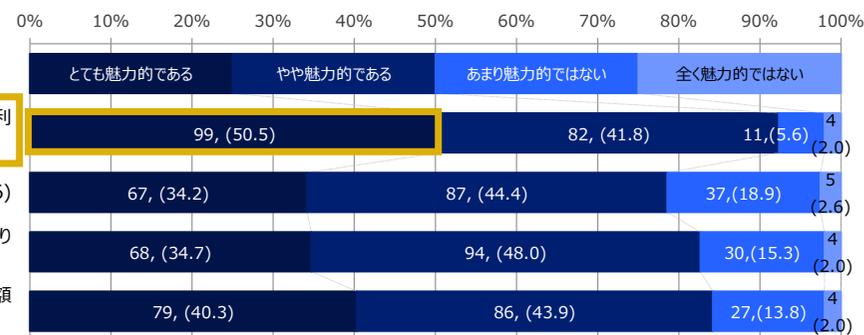
- 現時点でパーク&ライドをしている層としていない層では魅力的に感じるサービスが異なります。
- ターゲットや段階に応じたサービス・施策の提供内容について模索することが重要です。

<例：通勤目的でパーク&ライドで中心市街地に移動する際に魅力的だと思う定額サービス>

### ■ 現在、中心市街地に自家用車で移動しているユーザー

最も魅力的

1. 利用したい駅周辺にある駐車場（コインパーキング・商業施設駐車場）を月極駐車場よりも安く定額で利用できるサービス(n=196)
2. パーク&ライドで移動したら公共交通機関が定額で乗り放題になるサービス(n=196)
3. 利用したい駅周辺にある駐車場（コインパーキング・商業施設駐車場）と公共交通機関がセットで通常よりも安く定額で利用できるサービス(n=196)
4. 利用したい駅周辺にある複数の駐車場（コインパーキングや商業施設駐車場等）のいずれを使っても定額で利用できるサービス（駐車場の料金や満車状況を気にせずに利用できる）(n=196)

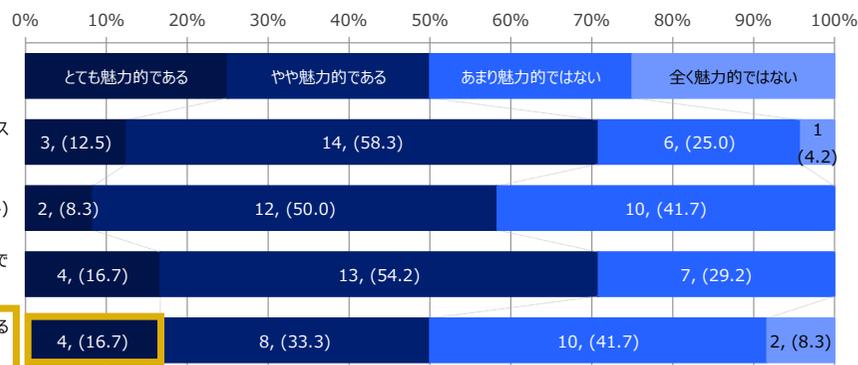


➡ パーク&ライドをしていない人は、確実に駐車できることを最も魅力的に感じています。

### ■ 現在、中心市街地にパーク&ライドで移動しているユーザー

最も魅力的

1. 利用したい駅周辺にある駐車場（コインパーキング・商業施設駐車場）を月極駐車場よりも安く定額で利用できるサービス(n=24)
2. パーク&ライドで移動したら公共交通機関が定額で乗り放題になるサービス(n=24)
3. 利用したい駅周辺にある駐車場（コインパーキング・商業施設駐車場）と公共交通機関がセットで通常よりも安く定額で利用できるサービス(n=24)
4. 利用したい駅周辺にある複数の駐車場（コインパーキングや商業施設駐車場等）のいずれを使っても定額で利用できるサービス（駐車場の料金や満車状況を気にせずに利用できる）(n=24)

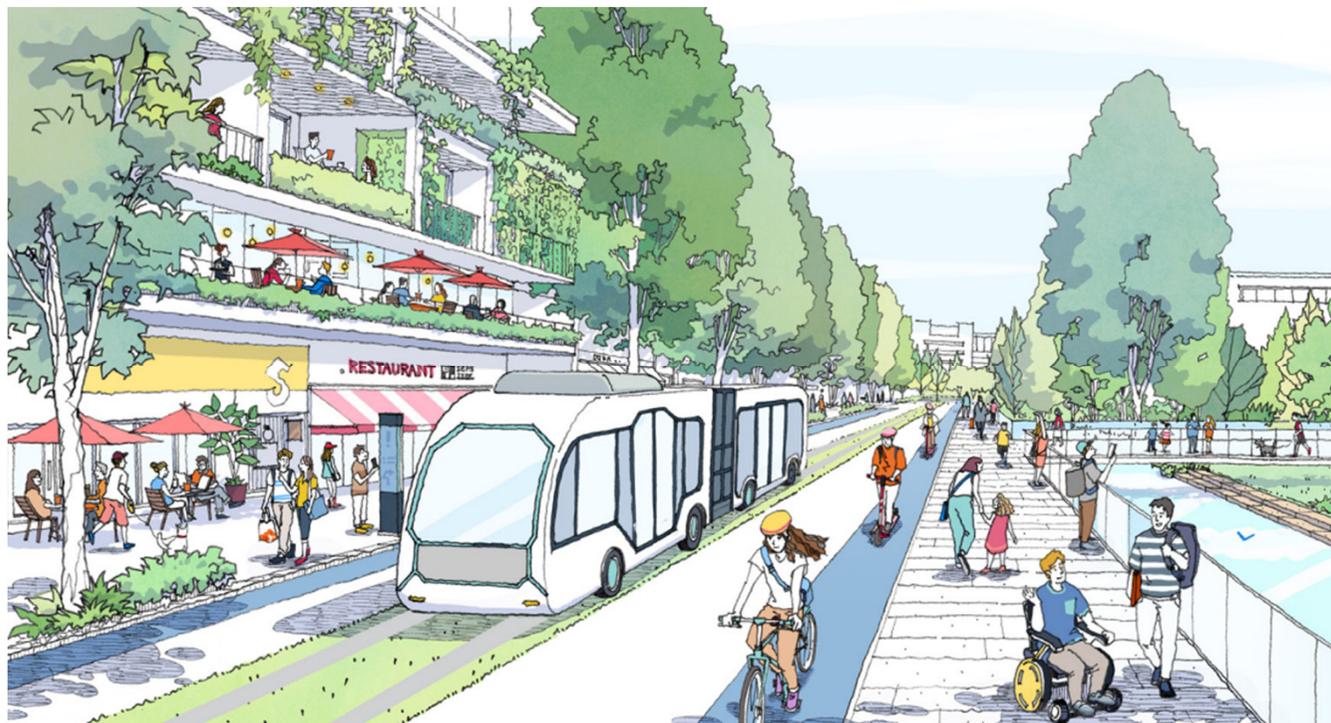


➡ パーク&ライドをしている人は、どの駐車場を使っても定額で利用できること最も魅力的に感じています。

## 公共交通があるまちの中心づくりに向けて

### ● まちづくりとの一体的な取組のもとで、施策の組み合わせによる多様な移動ニーズの実現

- これまでの公共交通のマネジメント方策は、多くの人が便利に使える自家用車に対して、不特定多数を対象とした利用促進が主流でした。
- 都市の持続的に経営していくためには、自家用車の利便性を活かすことができるパーク&ライド等を活かすなど、マチナカのにぎわい創出の観点も含めた、様々な施策を組み合わせることにより多彩なサービスを提供することで、多様な移動ニーズに応え、それにより自動車から公共交通への転換を促す、一歩進んだモビリティ・マネジメントが重要となります。



資料：国土交通省 2040年、道路の景色が変わる